



特集

p2-4

古民家活用の  
「今」を考える

p5-6\_\_サポセンの事業報告

p6\_\_[チャレンジャー]

出張子育てサポートかまへんよ

p7\_\_[スタッフコラム]

Come Peers!! インタビュー

p7\_\_サポセン新規届出団体

p8\_\_[ある日のサポセン]

“見える化”で状況を共有!

photo : IN kyo-Ya 隠居屋 ©omusubi 不動産

特集

# 古民家活用の 今を考える

吹き抜ける心地よい風、思わず昼寝したくなる  
田舎に帰ったような懐かしさ、想像と創造力をかきたてる場所—  
アートや手仕事で人がつながる古民家「隠居屋 IN kyo-Ya」。  
この百年建築が、次の百年も大切に使い続けられていくような、  
新しい刺激や発見に満ちた再生の試みをご紹介します。



## 隠居屋 IN kyo-Ya

松戸市南花島中町に、大正時代に建てられた古民家を改装して作られた「隠居屋」。「様々な人が繋がる場」を目指し、現在は子ども食堂などの開催のほか、レンタルスペース(時間貸し)を実施。

(期間限定予定。詳細は omusubi 不動産 HP  
<http://www.omusubi-estate.com/?b=inkyoya>)



おいしい食事とお酒を片手にジャズの演奏を楽しむ「古民家ジャズキッチン」。(2018年7月)



©omusubi不動産

「古民家マルシェ」には雑貨やフード、ドリンクなど、周辺地域で活躍する多彩なお店が一堂に集いました。(2018年9月)



©omusubi不動産

古民家活用やコミュニティづくりに関わるスペシャルゲストを迎えて行われた「古民家お座敷フォーラム」。(2018年6月)



大正時代に建てられ、関東大震災にも耐えたという立派な建物。



## コンセプトは「様々な人がつながる場」



### 昔

「昔、弟が生まれるまでは『おまえがこの家の跡継ぎだ』って祖母にずっと言われていたの。それがある意味、ホントになっちゃったわ」と、笑いながら話す石井なぎささん。大正6年に建てられた築100年を超える古民家を改装し、地域の人がゆるやかに集えるスペースとして今年6月「隠居屋 INkyo-ya」をオープンさせました。

南花島の地主の家に長女として生まれた石井さん。年の離れた弟さんは海外在住のため、ご両親を見守る役割を石井さんが引き受け、結婚後暮らしていた横浜から実家の南花島へ戻ってきたそうです。

### 自分で自分の「居場所」をつくったんです

「ここに戻ってみたら、通りを歩く人も少なく閑散としていて、『楽しい場所があったらいいのにな』って思っていました。父母を見るために戻ってきたけど、私が楽しく生きられる場所にしたい。ここに人が集まって、その中で私も楽しんだりしたいと思って作りしました。」

隠居屋を作ったもう一つの理由には、石井さんがお子さんを産むまで携わっていた建築士という仕事に影響しています。

「仕事に携わる中で『ここは残した方がいい』という気持ちを強く持つように。今作ろうと思っても作れる建物では無いから。家がもう一軒建つくらいの改装費用がかかったし、さて、これからどうしよう、という感じだけど(笑)当初はレストランを開業したいという方にお貸しする話もあったけど条件が合わず、様々な場所へ相談する中でomusubi不動産と出会い、協力して運営することになり、この場の可能性を探るための実験的なイベントとして「古民家お座敷フォーラム」「古民家JAZZキッチン」「古民家マルシェ」を開催しました。来年には蔵のギャラリー&カフェをオープンするので、その準備と企画をしているところです。」

# 家が「人」を待っている、 そんな空間

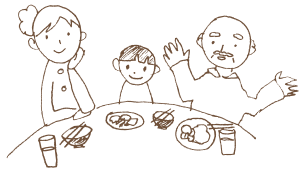
## 「はなしまみんなでごはん」

7月から月に1度、「はなしまみんなでごはん」という誰でも安心して気軽に来られる子ども食堂を開催。（現在は第3月曜日16時〜18時）市内に13カ所ある子ども食堂と協力しながら、「近所の方や地域で出会った仲間と一緒に運営しています。」

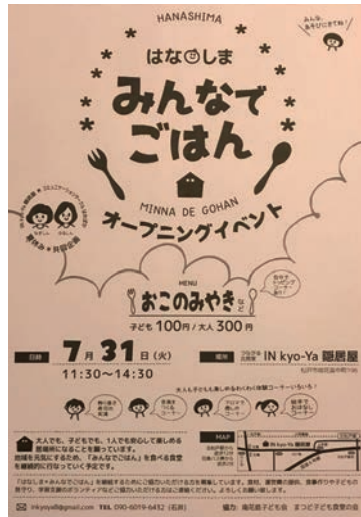
「この前、市内で子ども対象の体験活動をしている『たのたのじゅく』の新井さんが子どもたちと一緒に染めてくれた布を、友人のお父様である80代の方に旗に仕立てていただきました。地域には色々な特技を持った方がいて、『こちらが何かをやってあげます』という場もあっていいけど、自分の特技を出せると来る人もより積極的に参加してくれるような気がします。」

## 家が「人」を待っている、そんな空間

「昔から人の出入りが頻繁だったここがガランとしていると、もったいない気がして。今大きな力になってくれる友人や地域で出会った仲間と協力して、毎日何かやっつけて、人がいるような場所にしていきたい。」



③



①

①「子ども、大人、みんなにとって安心で安全な場をつくりたい」という思いで始めた「はなしまみんなでごはん」。

②子どもたちと染め、常連さんが仕立てた食堂の旗。



②



④



⑤



⑥



③④⑤母屋の奥にある蔵を改装した「gallery & cafe 雨讀」。雨の日、静かに自分と向き合うようにゆっくりと時間が流れる場所。10月のプレオープンイベントは大盛況でした。⑥春のオープンに向け、石井さんはコーヒーを淹れるための勉強も。





一緒に楽しんでいきましょう。  
自分の持っている力を最大限に発揮し、  
新たな交流を生み出し、共有したり、  
切磋琢磨しながら、  
成長していきたいです。

隠居屋  
おかみからの  
メッセージ

©omusubi不動産

report

1

まちづくりキーパーソン養成講座・第4期生修了

## ここから始まる キーパーソンへの道、 最終報告会 & 交流会

5月から全6回にわたって開講してきた本講座、  
8名の方が最終報告会にてこれからの活動プラン  
を発表しました。今回で4年目となりましたが、  
今年は学生〜シニアまで幅広い年代が参加し、中  
には薬剤師さんや婚活に関わるお仕事をされてい  
る方も。報告会には過去に本講座を受講したOB・  
OGや、たくさんの方の市民活動団体のリーダーも聞  
きにきました。発表後の交流会や懇親会で新しい  
つながりができ、これから様々なコラボレーション  
が生まれそうとても楽しみです。



▼最終報告会の様子



▼交流会の様子



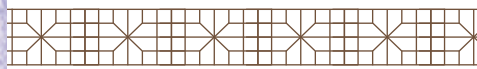
今年度の  
発表テーマ!

- ✓ 「みんなで助け合うまち」
- ✓ 「障がいや難病を持つ子どもと家族が笑顔で安心して暮らせる街へ」
- ✓ 「育つ力を信じ、じっくり見守ることのできる社会へ」
- ✓ 「婚活から家族と街を元気にする」
- ✓ 「夢を育む放課後改革 ~未来の種まき、夢づくり~」
- ✓ 「まちづくりキーパーソン Before & After」
- ✓ 「私のキーパーソンへの道 ~街の活性化を図る~」
- ✓ 「東京オリンピック 2020に向けての準備」



IN kyo-Ya

つながる古民家  
IN kyo-Ya 隠居屋  
松戸市南花島中町196  
TEL:090-6019-6432 石井  
メール: inkyo8@gmail.com



report

# 2

## 人とチームの つながりが分かる！ オンラインコミュニティ塾

NPOマネジメント強化プログラム

「人を上手く巻き込めない」「後継者が育たずいつも同じ人が負担している」「ボランティアな市民活動に取り組んでいると、多くの団体がこのような「組織づくり」に関する悩みにぶつかります。本当はもっとやりたいことや実現したい理念があるのに、チームとしてのパワーが足りず前に進めない。そんな経験がある方もいるのではないのでしょうか？」

今回の講座は団体のリーダーを主な対象として、オンラインの動画学習と参加者同士で学び合うスクーリングをセットにした連続プログラムです。11月10日に初回のオンラインセッションが開催され、最年少は高校生からシニアの団体まで定員となる10団体が2月までエントリーしています。



**11/10**  
(土)13時～15時

チームの運営がぐっと楽しくなる!!  
★限定10団体で募集中★

人とチームのつながりが1から分かる!  
**オンラインコミュニティ塾**

この中ひとつももって帰るのっていい? という方におすすめ! 同じ思いで集まって活動する市民活動団体などのグループで、このような悩みを抱えている方をサポートするための講座です。  
【動画による学び】+「学びを深めるスクーリング」で学びを実際の活動に活かしていくことができます。  
一団体が複数人での参加をおすすめします!

● 企画しても何れか決まらない  
● メンバーの中身がバラバラで一体感が無い  
● 新しいメンバーが来ず会費が滞っている  
● リーダーや特定の個人に負担が偏っている  
● 思いがたたくて活動が止まっている

● 本講座は、スマホやタブレット、パソコンなどを使い、オンラインで動画の動画を視聴する映像学習と、参加者同士で集まり、学んだことをお互いに話し、実践に活かすスクーリングがセットになります。

● 講座日程(全4回のスクーリングと映像学習)

<b>11/10</b> (土)13時～	<b>12/15</b> (土)13時～	<b>1/19</b> (土)13時～	<b>2/9</b> (土)13時～
-------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------

● 講師紹介 一橋 聖徳大学中野区人権センター代表理事  
1984年生まれ、心理学の分野で活躍中。2001年に設立した、社会福祉法人「人権センター」の代表理事。2005年にNPO法人「人権センター」を設立し、現在は代表理事。『子育ての専門家と連携して子育てを支援する』という理念のもと、子育て支援センターの活動やメンタルヘルスマネジメント研修コースを主催している。

● 講師 一橋 聖徳大学中野区人権センター代表理事  
1984年生まれ、心理学の分野で活躍中。2001年に設立した、社会福祉法人「人権センター」の代表理事。2005年にNPO法人「人権センター」を設立し、現在は代表理事。『子育ての専門家と連携して子育てを支援する』という理念のもと、子育て支援センターの活動やメンタルヘルスマネジメント研修コースを主催している。

● 主催 東京都子育て支援センター  
NPO法人「人権センター」代表理事 一橋 聖徳大学中野区人権センター代表理事 一橋 聖徳大学中野区人権センター代表理事  
Tel : 047-365-5522

Attention!



サポセンでは講座に限らず、こうした団体運営のお悩みに応じています!

お気軽にご相談ください!



↑バランスもしっかり考えた「ひぐらしママのお休み処」のごはん。



↑八ヶ崎市民センターでは不定期でママのためのオープンスペースも開催。



↑保護者が在宅でのお子さまの保育も行います。

親子の絆を  
支える  
ママ・サポセン  
の活動



←小川みさんは育児セラピストや子育てアドバイザー等の資格も取得しています。

〈チャレンジャー〉  
市民活動団体紹介

# 出張子育て サポート かまへんよ

お問合せ

✉ E-mail kamahenny@gmail.com  
☎ TEL 090-6141-8903

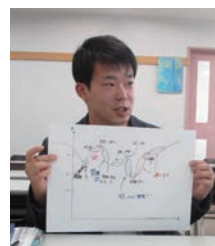
Challenger



## 地域で見守る子育てを目指し 子育ての中の「困った!」をリアルにサポート。

「親」と「子」とともにを合言葉に18才までの子どもの見守り・外出同行・家事サポートを行う事業を立ち上げた小川みさん。忘れられないのは「私のダンスの発表会があるから、子どもと客席で見てほしい。」という依頼。「自分が踊るために子どもを預けるなんて、祖父母や他のサービスの方だったら何を言われるかわからないけど、小川さんだったら『かまへんかまへん』って受けてくれる気がして。」—お母さんは、自分を閉じ込めて生きている。もっと解放してあげたい、という想いで接しているそうです。11月からは八ヶ崎にある宅老所「ひぐらしのいえ」と協力し「ひぐらしママのお休み処」もスタート。ちょっと書類を書きたい、家計簿をつけたい、などママが自分のやりたいことに集中できる時間とあたたかいお昼ご飯を提供。その間小川さんが親の目の届く範囲で子どもたちを遊ばせながら見守る。施設にいるおばあちゃんが子どもを見て目を細める場面も見られ、地域で見守る子育てを目指し活動しています。

# 楽しく地域活動を盛り上げよう！ ～「Come Peers!!」インタビュー～



鈴木康平さん

千葉商科大学の鈴木康平さんが、6月～8月の期間、サポセンの「コーディネーター体験」インターンシッププログラムに参加しました。各種講座のサポートや来館する団体の対応など、積極的に参加してくれた鈴木さん。インターンの集大成として「Let's 体験!!」の運営補助を鈴木さんと一緒に担った「Come Peers!!(前号の特集記事にも掲載されたボランティア団体)」の紹介レポートを書いてくれましたので掲載します。

## 1 こめピアとは?

今回自分は、「Come Peers!!」という団体をインタビューさせて頂きました!

こちらの団体は「Let's 体験!!」のふりかえり文集作成委員の活動を経たメンバーが、2018年4月に学年・性別・職種などの所属にとらわれずにつながる場所を大事にし、活動を通して「地域をちょこっと面白く」することを目的に立ち上げました。普段は略して、こめピアと呼んでいます。現在9人で活動しています。

## 2 活動

こめピアでは現在、主な活動としてサポセンの「Let's 体験!!」をまとめた冊子(ふりかえり文集)をふりかえり文集作成委員と協力しながら制作しています。メンバーそれぞれの得意分野に応じて、絵を描いたり文章を考えたりしてたくさんの若者に見てもらえるものを制作しています。

「もっとふりかえり文集をたくさんの人達に見てもらいたいで、イラストを増やしてみんなの目に留まるようにしたい」と話すのはメンバーのいくみんさん。

また今年の夏には「Let's 体験!!」のオリエンテーションやふりかえりの会の企画にも携わり、サポセンと一緒に夏のボランティア活動を盛り上げてきました。

## 3 経験

みんなが口を揃えて話していたのは、「こめピアに参加していると色々なことが学べる」ということ。活動を通して交友関係が広まることや学外交流があることはとても魅力的だと思います。活動していると年上の方から話を聞いたり、考えが違う人と触れ合うことがあるのでそれだけでも充分勉強になると思います。

## 4 これから

今後の活動としては、「3月に開催されるみらいフェスタへの出展や、松戸周辺の様々なイベントに参加したい」「メンバーの無理のない範囲でたくさん活動したい」と話していました。これからも楽しく地域活動などを盛り上げていき、そしてこめピアのメンバーも楽しく活動していけたら良いと話していました。



### —インタビューを終えて—

皆さんしっかりしておとなっぽい印象でした。考えをまとめるなど経験をたくさん積んでるのかなと思いました。これからも活発に活動を続けて欲しいと思います。



## サポセン 新規届出団体 を紹介します!

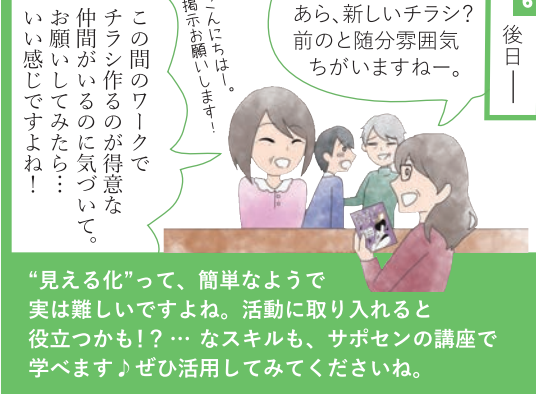
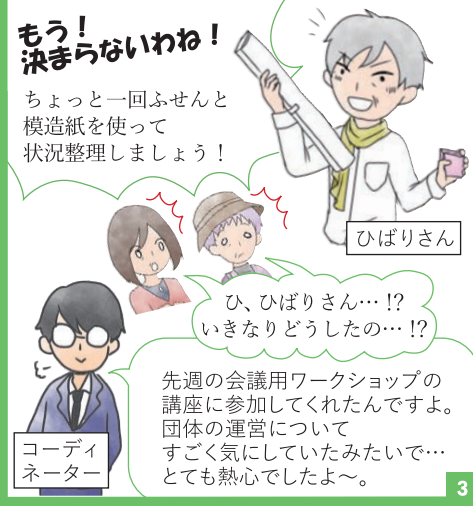
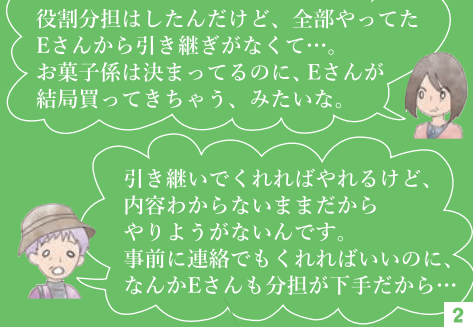
(2018年9月27日  
～11月13日  
届出順・敬称略)

- ★ビューティフルウォーキングプロジェクト(BWP)
- ★地球人 ★日本女子大学 櫻楓会 松戸支部
- ★NPO法人日本吹矢検定 松戸支部
- ★動物福祉団体いのち ★つながる古民家 IN kyo-Ya 隠居屋
- ★デジタルクラブ ★南部バドミントンクラブ
- ★新松戸地区社会福祉協議会 ★きょうどうの会 松戸 ★Tea Pot

# 「見える化」で状況を共有!

皆さんにサポートセンターのことや市民活動のことをもっと知ってもらうために、これまでに寄せられたご質問や実際の出来事などをもとに、仮想のストーリーに仕立てた「Q&A風」のコーナーです。今回は第7話の続編をお届けします!

〈前回のあらすじ〉団体メンバーの活動への温度差を、会議を通して確認してみた歌声サークル「ビヨONSE」のついでに、温度差に則って役割分担したはずなのに、なぜかEさんの仕事量だけ増えているようで…



詳しくは「ぼっく」をご覧ください!

サポセン ニュースレター 第14号(2018年仲冬号)



発行日: 2019年1月20日(※年4回発行) 発行元: まつど市民活動サポートセンター (指定管理者 NPO 法人まつど NPO 協議会) デザイン: トクナガリツコ

「ぼっく」の主な設置場所 松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅自由通路に設置しています。 「ぼっく」設置協力店 フェリーチェ(松戸新田)/デジラボ(本町)/Sampo Café(八ヶ崎7丁目)/古民家ホームシェア co-no-mi(吉井町2丁目)

## 「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

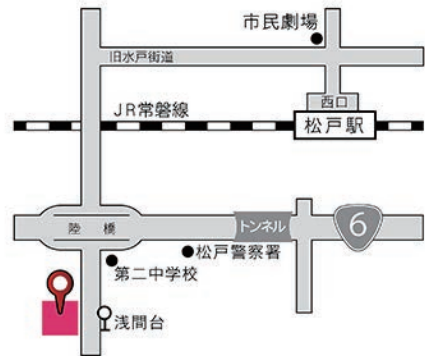
ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけますか? ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。広告掲載も募集中です。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。



特集で取材した IN kyo-Ya 隠居屋の女将・石井さんが「母がはなしまみんなでごはんの日を楽しみにしていて、毎回近所の方を呼んで楽しそうに話してるの。それを見ただけで、ここを開いてよかったなと思って」と話されていました。自分の開いた場が、身近な人にも喜んでもらえるって幸せですよ〜(菊)

## まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内) TEL: 047-365-5522 FAX: 047-365-5636 E-mail: hai\_saposen@matsudo-sc.com URL: http://www.matsudo-sc.com/ facebook: https://www.facebook.com/matsudo.sc



◎開館時間: 月曜〜土曜...9時〜21時 日曜...9時〜17時 ◎休館日: 第1・第3水曜、年末年始(12/29〜1/3)